

1. 評価結果概要表

作成日 2007年12月5日

【評価実施概要】

事業所番号	1270200668
法人名	社会福祉法人千葉勤労者福祉会
事業所名	グループホームひまわり
所在地	千葉県千葉市花見川区幕張町5-225 (電話) 043-213-9500

評価機関名	特定非営利活動法人コミュニティケア研究所		
所在地	千葉県千葉市中央区千葉港4-4千葉県労働者福祉センター5階		
訪問調査日	平成19年12月5日	評価確定日	平成20年1月17日

【情報提供票より】(19年11月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年10月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	14 人
職員数	20 人	常勤8人, 非常勤12人, 常勤換算5人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り 3階建て(一部2階建て)の 1階 ~ 2階部分
------	---------------------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000円	その他	食費36,000円 + 水光熱費15,000円 + 実費	
敷金	有(90,000円)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無		
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	500 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 1,300円			

(4) 利用者の概要(11月1日現在)

利用者人数	14 名	男性	0 名	女性	14 名
要介護1	4 名	要介護2	3 名		
要介護3	6 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86.3 歳	最低	77 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	千葉健生病院 中村歯科医院 まくはりの郷(老人保健施設)
---------	------------------------------

特定非営利活動法人コミュニティケア研究所

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

千葉市花見川区幕張のJR総武線幕張駅近くの「まくはり生活福祉センターからたち」内にあり、デイサービスセンター、生活支援ハウス、訪問介護ステーション、地域交流センター、福祉相談室、介護ショップ等併設され、地域に開かれた施設として運営されている。グループ内に病院、歯科医院、介護老人保健施設があり医療機関との連携を図っている。法人理念の「その人らしさ」「生き方」「したいこと」は簡単、明瞭で入居者やご家族、職員に分りやすいものになっている。職員が入居体験をする「認知症の疑似体験」と称した研修は「入居者やご家族から見たホーム、職員」を体験できる貴重な研修が実施されている。また、ホーム内の台所には入居者が使いやすい高さの流し台が設置されており、職員と共に調理、片付けができるよう配慮されている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価から 生活空間作り:入浴時の安全への配慮では、浴室出入口や、シャワー前に手すりが新たに設置されており、更に安全に配慮されていた。ケアサービス:職員交代に伴う申し送り方法で引継ぎを確実にするためサインや捺印を残す件では、確認のチェック表が追記され引継ぎがされていた。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価を全職員で行い、サービス評価の重要性を共有するよう努めている。外部評価の結果を踏まえ改善に向けた具体案の検討や実践につなげるための努力をしている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は2ヶ月に一度定期的に開催されており、行政関係者、民生委員、家族会、法人代表、管理者等で活動内容、事故報告、入居者の状態、これからの課題等が話し合われている。また、区役所の職員が定期的にホームに来訪され、入居者の状況を確認して、気が付いたことをアドバイスしている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	ご家族には手紙や面会時、家族会等で常に問い掛け、何でも言ってもらえるような雰囲気づくりに留意している。介護相談員が定期的に訪問されているが、入居者だけの利用なので、ご家族にも第三者への相談機会が確保されることが期待される。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	近隣の小学校で開催される健康まつりや、保育園の運動会やひな祭り、地域の行事などに積極的に参加している。また、夏祭りやお茶会などには地域の方に声をかけ交流の機会を設けている。

## 2. 評価結果 ( 詳細 )

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義を職員全員で確認し「その人らしさ」「生き方」「したいこと」を尊重し地域に開かれたホームに向け、独自の理念を掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員の採用時や法人の教育計画の中で理念を伝え、職員会議やカンファレンス等で意見交換し共有を図っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣の小学校で開催される健康まつりや、保育園の運動会やひな祭り、地域の行事などに積極的に参加している。また、夏祭りやお茶会などには地域の方に声をかけ交流の機会を設けている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を全職員で行い、サービス評価の重要性を共有するよう努めている。外部評価の結果を踏まえ改善に向けた具体案の検討や実践につなげるための努力をしている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に一度定期的開催されており、行政関係者、民生委員、家族会、法人代表、管理者等で活動内容、事故報告、入居者の状態、これからの課題等が話し合われている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホームの行事に招待したり、定期的に来訪され入居者の状況を確認して、気が付いたことをアドバイスしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月発行している「ひまわり便り」、面会時、病院受診時、家族会等の時に近況報告や活動等を伝えている。また、行事への参加を呼びかけ、日頃の様子を伝えるよう務めている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族には手紙や面会時、家族会等で常に問い掛け、何でも言ってもらえるような雰囲気づくりに留意している。		介護相談員が定期的に訪問されているが、入居者だけの利用なので、ご家族にも第三者への相談機会が確保されることが期待される。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動の際は都度、ひまわり便りに掲載している。また、入居者に紹介したり、あいさつを行う場面を設けている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間研修予定を通じ、段階に応じた内外の研修を実施している。参加した職員が講師となり、全職員に周知、指導し伝える仕組みもできている。新人職員が入居体験をする「認知症の疑似体験」とは貴重な研修と思われる。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内研修や市内連絡会、関連事業所の研修会での交流や、近隣同業者からの慰問等、交流を持てるようにしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>申込み後にすぐ入居というパターンが多いが、ご家族やそれまで関わってきた関係者に来てもらうなどして、安心感を持ってもらうようにしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者は人生の先輩であるという考えを職員が共有しており、普段から入居者に教えてもらう場面が多い。昔話や苦労話、不安、喜びなどを知ることにより、共に支えあえる関係づくりに留意している。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者の、新鮮なお刺身を食べたい、成田山に行きたい、バス旅行がしたいなどの要望を、出来る限り職員がかなえるようにしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>定期的なアセスメントを行っている。カンファレンスにはできるだけ家族にも声かけをし、参加がみられるようになった。家族、職員、看護師、場合によっては作業療法士の意見なども反映した介護計画書を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3か月に一度の定期的な見直しや、状況変化が生じた場合は随時見直しがされている。しかし、書類の作成が速やかに行われておらず、緊急の変更時には口頭での申し送りや簡易的な書類で対応している。</p>	○	<p>サービスを最優先して取り組んでいる様子が伺える。今後は速やかな介護計画書の作成が求められる。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院は通常、家族に協力をお願いしているが、場合によっては提携病院の有償ボランティアの協力を受け、通院介助を行っている。また、入院時には病院と密に連携を取り、早期退院に向けた支援を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所後も継続してかかりつけ医による受診の支援が行われている。遠方の入居者家族の要望で、ホームの協力医療機関に変更された方もいる。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族や職員への終末期ケアに対するアンケートの実施や、法人、医療関係者との話し合いは出来ている。また、家族からも同意書ももらっている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉かけや対応については、入居者個々にあった対応を心掛けている。また、職員同士気がついた時はその場で注意し合うようにしている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の自主性を尊重し、入浴、散歩など一人ひとりのペースに合わせて支援を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理の得意な入居者が職員と一緒に昼食の準備をするなど、楽しんで取り組んでいる様子が伺えた。出来上がった食事を共にし、食べこぼしなどにはさりげない支援がされていた。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	特に曜日を設定せず、入りたい時にはいつでも入浴できるよう支援している。仲の良い入居者同士で入ることもある。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	絵画、将棋、アイロンがけ、裁縫など、入居者の得意なことを聞き出し支援している。最近フラワーアレンジメントを始めた入居者がおり、作品を居室に飾り楽しんでいる。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩、買い物など入居者が出かけたい時にはいつでも一緒に出かけている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員の見守りや入居者の外出の傾向を把握し、日中は鍵をかけていない。黙って出てしまった場合でも職員がすかさず付き添い安全に留意している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的な避難訓練を施設全体で行っている。また、地域交流会などで訓練時の協力を呼びかけている。今後は近隣に建設中の消防署の指導や協力を得て、場面を想定した訓練の実施を行うことで、災害対策が更に強化されると思われる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養に関しては協力医療機関の栄養士によるチェックで摂取量が明確になっている。また、水分量もチェック表をつけたり、不足がちな入居者には、さりげない支援で自然に水分補給ができるよう支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングに手作りの大きなカレンダーや、クリスマスツリーが飾られ、季節感を出している。室内は清掃が行き届き、気持ちがいい。廊下の照明が少々暗く感じるが、床のフローリングが柔らかくそれをカバーしている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個々に慣れ親しんだ家具や仏壇、家族の写真、花やぬいぐるみを飾り、安心して過ごせるき居室になっている。		